



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東  
 コード番号 4680 URL <https://www.round1.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 杉野 公彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 佐々江 慎二 TEL 06-6647-6600  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	30,912	69.4	2,359	—	2,582	—	2,025	—
2022年3月期第1四半期	18,243	224.0	△3,572	—	△3,575	—	△3,925	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 5,069百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 △3,902百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	21.22	21.22
2022年3月期第1四半期	△44.26	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	163,358	58,781	35.8	612.41
2022年3月期	157,698	54,603	34.4	569.09

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 58,455百万円 2022年3月期 54,320百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	12.00	—	4.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日（2022年8月5日）公表の「株式分割、定款の一部変更、配当予想の修正（増配）及び株主優待制度の変更に関するお知らせ」をご覧ください。また、当社は、2022年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行うことを予定しております。そのため、年間の配当予想につきましては単純合計ができないため、表示しておりません。なお、株式分割を考慮しない場合の期末配当金は12円、年間配当金は24円であります。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	64,761	56.6	6,644	—	6,688	—	4,863	—	50.95
通期	132,624	37.5	16,057	—	15,780	194.4	11,209	184.7	117.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

当社は、2022年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行うことを予定しております。上記の1株当たり当期純利益は分割前の数値を記載しております。なお、株式分割を考慮した場合の1株当たり当期純利益は、通期は39円14銭であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	95,454,114株	2022年3月期	95,452,914株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,922株	2022年3月期	1,335株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	95,451,584株	2022年3月期1Q	88,699,045株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染者数減少に伴い規制緩和がなされる等、経済回復への動きが見られましたが、感染拡大の長期化の影響を受け、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

他方、世界経済においても、新型コロナウイルス感染症の感染者数に減少の傾向が見られるものの、不安定な国際情勢に伴う経済への下押し圧力が強く、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは日本において、引き続き一部店舗の「ギガクレーンゲームスタジアム」への改装を行いました。また、「クレッチャ」で獲得した景品を店舗で受け取るサービスを開始したほか、ラウンドワン限定のコラボ商品を販売するオンラインショップを「ラウンドワンアプリ」内にてリリースいたしました。

米国においては、営業基盤を拡大すべく、新たに2022年6月にペンブロークレイクス店（フロリダ州）を出店いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高30,912百万円（前年同四半期比69.4%増）、営業利益2,359百万円（前年同四半期は営業損失3,572百万円）、経常利益2,582百万円（前年同四半期は経常損失3,575百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,025百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失3,925百万円）となりました。

なお、当社が運営する屋内型複合レジャー施設は、お盆期間やお正月期間等長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上高が増加する傾向があり、四半期毎で業績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (日本)

一部店舗においてクレーンゲーム機を大幅に増台し、「ギガクレーンゲームスタジアム」への改装を順次行いました。また、オンラインクレーンゲーム「クレッチャ」で獲得した景品を店舗で受け取るサービスを開始したほか、アーティスト、アイドル、アニメとのコラボイベントの際にラウンドワン限定のコラボ商品を販売するオンラインショップを「ラウンドワンアプリ」内にてリリースいたしました。

以上の結果、ボウリング収入は前年同四半期比68.3%増、アミューズメント収入は前年同69.3%増、カラオケ収入は前年同139.2%増、スポッチャ収入は前年同82.1%増となりました。

#### (米国)

営業基盤を拡大すべく、新たに2022年6月にペンブロークレイクス店（フロリダ州）を出店いたしました。また、新しいアミューズメント機種種の積極的な導入に努めました。

以上の結果、ボウリング収入は前年同四半期比80.3%増、アミューズメント収入は前年同53.4%増、カラオケ収入は前年同99.9%増、スポッチャ収入は前年同78.3%増となりました。

#### (その他)

その他セグメントにおいては、日本・米国以外の地域に出店準備を進めております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ5,659百万円増加の163,358百万円となりました。この要因は、現金及び預金が1,119百万円減少したこと等による流動資産の減少1,025百万円と、リース資産（純額）が2,570百万円増加、アミューズメント機器（純額）が1,682百万円増加、建物及び構築物（純額）が1,663百万円増加したこと等による固定資産の増加6,685百万円によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,481百万円増加の104,576百万円となりました。この要因は、リース債務が801百万円増加、未払法人税等が562百万円減少したこと等による流動負債の増加402百万円、リース債務が1,992百万円増加、長期借入金が1,525百万円減少したこと等による固定負債の増加1,078百万円によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,178百万円増加の58,781百万円となりました。この要因は、為替換算調整勘定が3,059百万円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益2,025百万円の計上等により利益剰余金が1,071百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は35.8%（前連結会計年度末は34.4%）となりました。

### (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきまして、2022年5月11日に公表しました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2022年8月5日公表の「第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	46,316	45,197
売掛金	1,061	923
商品	364	393
貯蔵品	2,701	3,293
その他	3,859	3,470
流動資産合計	54,303	53,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	88,816	92,393
減価償却累計額	△48,375	△50,290
建物及び構築物(純額)	40,440	42,103
土地	5,736	5,732
リース資産	27,845	32,482
減価償却累計額	△12,684	△14,750
リース資産(純額)	15,161	17,731
使用権資産	4,362	4,203
減価償却累計額	△748	△461
使用権資産(純額)	3,613	3,742
その他	49,587	54,819
減価償却累計額	△30,363	△33,322
その他(純額)	19,224	21,496
有形固定資産合計	84,176	90,807
無形固定資産	816	810
投資その他の資産		
繰延税金資産	8,288	8,267
差入保証金	8,578	8,583
その他	1,534	1,610
投資その他の資産合計	18,401	18,461
固定資産合計	103,395	110,080
資産合計	157,698	163,358

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	243	226
短期借入金	700	700
1年内償還予定の社債	342	342
1年内返済予定の長期借入金	6,216	6,206
リース債務	8,456	9,258
未払法人税等	947	384
契約負債	2,084	2,454
その他	10,756	10,576
流動負債合計	29,747	30,149
固定負債		
社債	971	799
長期借入金	41,278	39,753
リース債務	12,556	14,548
資産除去債務	6,824	6,838
長期預り保証金	361	360
その他	11,354	12,124
固定負債合計	73,347	74,426
負債合計	103,095	104,576
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	25,021	25,022
資本剰余金	25,697	25,698
利益剰余金	△126	944
自己株式	△2	△3
株主資本合計	50,590	51,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	4
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	△138	△138
為替換算調整勘定	3,867	6,927
その他の包括利益累計額合計	3,730	6,793
新株予約権	282	325
非支配株主持分	0	0
純資産合計	54,603	58,781
負債純資産合計	157,698	163,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	18,243	30,912
売上原価	20,966	27,488
売上総利益又は売上総損失(△)	△2,722	3,424
販売費及び一般管理費	849	1,064
営業利益又は営業損失(△)	△3,572	2,359
営業外収益		
受取利息	3	1
補助金収入	228	129
為替差益	—	200
持分法による投資利益	—	47
その他	77	92
営業外収益合計	308	471
営業外費用		
支払利息	238	220
持分法による投資損失	3	—
その他	70	27
営業外費用合計	312	248
経常利益又は経常損失(△)	△3,575	2,582
特別損失		
固定資産除却損	27	29
特別損失合計	27	29
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,602	2,553
法人税、住民税及び事業税	30	227
法人税等調整額	292	300
法人税等合計	323	527
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,925	2,025
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,925	2,025

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,925	2,025
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	23	3,000
持分法適用会社に対する持分相当額	—	43
その他の包括利益合計	23	3,043
四半期包括利益	△3,902	5,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,902	5,069
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上金額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,331	6,881	18,213	30	18,243
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,331	6,881	18,213	30	18,243
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△3,852	583	△3,268	△306	△3,575

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国(Round One Entertainment Inc. 及びその連結子会社2社)を除く海外現地法人の事業活動を含んでおります。  
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失(△)と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上金額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,555	11,201	30,756	156	30,912
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,555	11,201	30,756	156	30,912
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,074	1,823	2,897	△315	2,582

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国(Round One Entertainment Inc. 及びその連結子会社2社)を除く海外現地法人の事業活動を含んでおります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2022年8月5日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議いたしました。

1. 株式分割

(1) 株式分割の目的

株式分割により、当社株式の投資単位当たりの金額(最低投資金額)を引き下げるとともに、流通株式数の増加により株式の流動性を高めることで、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大並びに株主数のさらなる増加を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

2022年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する当社普通株式を、1株につき3株の割合をもって分割いたします。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	95,454,114株
今回の分割により増加する株式数	190,908,228株
株式分割後の発行済株式総数	286,362,342株
株式分割後の発行可能株式総数	749,100,000株

(注) 上記の発行済株式総数は、新株予約権の行使により株式分割の基準日までの間に増加する可能性があります。

③分割の日程

基準日公告日	2022年9月15日
基準日	2022年9月30日
効力発生日	2022年10月1日

④1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	△14円75銭	7円07銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	—	7円07銭

2. 定款の一部変更

(1) 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2022年10月1日をもって、当社定款第6条に定める発行可能株式総数を変更いたします。

(2) 定款変更の内容(下線は変更部分)

現行定款	変更後定款
第6条(発行可能株式総数) 当社の発行可能株式総数は、 <u>249,700,000株</u> とする。	第6条(発行可能株式総数) 当社の発行可能株式総数は、 <u>749,100,000株</u> とする。

(3) 定款変更の日程

効力発生日 2022年10月1日

3. その他

(1) 資本金の額の変更

今回の株式分割に関して、資本金の額の変更はありません。

(2) 新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、2022年10月1日以後に行行使する新株予約権の1株当たりの行使価額を以下のとおり調整いたします。

	取締役会決議日	調整前行使価額	調整後行使価額
2021年新株予約権	2021年10月29日	1,394円	465円